

〈養殖新産業確立検証事業〉 事業費:6,560 千円

内訳 ①ビワマス湖中養殖技術開発事業 事業費:5,800 千円

②淡水真珠稚貝生産者育成事業 事業費: 766 千円

①ビワマス湖中養殖技術開発事業

～事業の背景～

ビワマスの需要が急増していますが、天然物は資源的な制約、陸上養殖物は成長が遅い等の生産の低効率により、需要を満たしきれっていません。一般的にマス類養殖では、養殖に使用できる水量が生産量を左右します。琵琶湖での網生け簀を用いた養殖は豊富な水量を確保できることから、生産量の増大の可能性が期待されます。そのため、まずは湖中での養殖技術の検証等に取り組んでいます。

～事業の内容～

○新技術「湖中養殖」の検証

実際の養殖現場におけるビワマスの成長、生残等の飼育特性の検証および課題の抽出

○市場ニーズの把握

市場関係者へのヒアリング等、マーケティング調査を実施し、目指す品質規格、生産規模、価格帯等、販売ターゲットの把握と技術開発へのフィードバック

②淡水真珠稚貝生産者育成事業

～事業の背景～

一大産業であった本県の真珠養殖業は、昭和の終わり頃に原因不明の母貝の成長不良によって衰退しました。一方で、近年は琵琶湖の真珠の人気が高まってきています。真珠の増産には真珠母貝を安定的に確保する必要がありますが、母貝の元となる稚貝の生産がうまくいかない漁場が複数あり、その対策が求められています。

～事業の内容～

○蓋付コンテナ飼育での稚貝大量生産の検証

稚貝生産に適した漁場において、大量生産に向けた飼育試験を行います。

○人材育成・生産体制整備に向けた検証

地域の漁業者に作業を依頼し、生産体制整備に向けた課題を抽出します。

